

会社概要

商号 日本メジフィジックス株式会社 (Nihon Medi-Physics Co., Ltd.)
 本社所在地 〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 TEL: 03-5634-7006 (代表)
 事業目的 放射性医薬品、診断用薬、治療薬、医療機器および
 関連製品の研究、開発、製造、販売ならびに輸出入等
 設立年月日 1973年3月20日
 資本金 31億4,578万円
 出資比率 住友化学株式会社 50% GEヘルスケア 50%
 取引先 全国主要病院
 取引銀行 株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社
 売上高 293億円 (2022年度実績)
 従業員数 818名 (2023年3月現在)
 関係会社 エヌ・エム・ピービジネスサポート株式会社
 Webサイト <https://www.nmp.co.jp/>



事業所



● 本社
 〒136-0075
 東京都江東区新砂3丁目4番10号



● 千葉工場／創業研究所／セラノスティクス生産技術センター
 〒299-0266
 千葉県袖ヶ浦市北袖3番地1



● 兵庫工場
 〒669-1339
 兵庫県三田市テクノパーク9番地1



PETラボ

- | | |
|--|---------------------------------------|
| 1 札幌ラボ 〒003-0874 北海道札幌市白石区米里4条2丁目3番25号 | 7 北陸ラボ 〒932-0856 富山県小矢部市フロンティアパーク12番地 |
| 2 東北ラボ 〒024-0051 岩手県北上市相去町山根梨の木43番地131 | 8 京都ラボ 〒614-8159 京都府八幡市上奈良大門31番地17 |
| 3 北関東ラボ 〒375-0037 群馬県藤岡市三本木字中道東430番地1 | 9 神戸ラボ 〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町5丁目5番1号 |
| 4 東京ラボ 〒136-0075 東京都江東区新砂3丁目4番10号 | 10 岡山ラボ 〒701-1221 岡山県岡山市北区芳賀5312番地1 |
| 5 神奈川ラボ 〒256-0804 神奈川県小田原市羽根尾244番地1 | 11 福岡ラボ 〒839-0801 福岡県久留米市宮ノ陣3丁目6番3号 |
| 6 愛知ラボ 〒470-0334 愛知県豊田市花本町井前1番34号 | |

核真直直 医学 子

日本メジフィジックス株式会社

会社案内

もっと早く 病気を発見できたら その願いをかなえるために

病気を早く見つけて治したい。

誰もが願うこの願いをかなえるため、

私たちは半世紀にわたり「核医学」に取り組んできました。

核医学は、わずかな放射線を出す薬を使って、体の中の働きを

体の外から見ることができる医学の専門分野です。

患者さんへの負担をできるだけ抑えた検査方法として、

さまざまな病気の早期発見と診断に役立っています。

私たちはその薬の研究・開発・製造・販売に取り組み、全国へお届けしています。

これからも「もっと早く病気を発見できる」

未来の医療を目指して、

医療従事者の皆さんと一緒に挑戦を続けます。

真直ぐ、 核医学。



日本メジフィジックスは、その社名を構成する「医学 (Medicine)」と「物理学 (Physics)」を基盤とする技術「核医学」を事業分野として1973年に創業しました。以来、技術力と創意工夫によって人々が健やかに暮らせる日々に寄り添いたい、という志のもと、放射性医薬品の国産化を始めとしたいくつもの挑戦を通して、核医学分野の発展と普及に努めてきました。

医療を取り巻く環境が激しくまた絶えず変化する中、企業は迅速かつ柔軟に社会のニーズに対応することが求められています。当社は、この先も世の中から必要とされる企業であり続けるために、創立50周年を機に当社の志に立ち戻り、社会での存在意義をパーパスとして明文化しました。「核医学で、健やかな社会を創る」というパーパスを軸に、従来にも増して新たな価値創造に挑み、より一層人々が健やかに暮らせる社会の実現に貢献します。

核医学のさらなる深化により
健やかな社会の実現を目指します

代表取締役社長 とみがはら よしたか 富ヶ原 祥隆

6つの質問で知る日本メジ フィジックス

日本メジフィジックスや核医学について知ってもらうための、
6つのQ&Aを用意しました。
「核医学ってなに?」「安全性は?」といった
素朴な疑問にお答えします。

1
日本メジフィジックスって
なんの会社?

製薬会社です

放射性医薬品を開発・製造・販売する製薬会社です。
放射性医薬品の日本初の国産化を目指して設立され、
これまでの歩みの中でいくつかの「日本初」がある
ことが私たちの誇りです。

2
日本メジフィジックスの
強みってなに?

全国に生産拠点があります

短時間で効力が失われる放射性医薬品の供給は時間
との闘い。医療機関にお約束通りの時間にお届けで
きるよう、全国に生産拠点を持っています。

3
核医学ってなに?

放射性医薬品で 病気の診断や治療を行います

放射性同位元素（ラジオアイソトープ=RI）を含む医
薬品や医療機器を使って、病気の画像診断や治療を
行う医学の専門分野です。



4
放射性同位元素(RI)って安全なの?

放射性同位元素の量はごくわずか、 それも短時間で減衰します

放射性医薬品に含まれるRIはごく微量です。しかも
短時間で減衰する性質を持つため、人体への放射
線の影響はX線検査やCT検査と同程度と考えられ
ています。

5
どんな病気を見つけられるの?

がん、認知症などの診断に 利用されています

放射性医薬品を使う「SPECT検査」や「PET検査」
といった核医学検査は、がん、認知症、脳卒中、心
筋梗塞などの早期発見に役立てられています。

6
核医学検査の特徴は?

より早期での病気の発見が 期待できます

CT検査やMRI検査が臓器の形を調べるのに対し、核
医学検査は働き具合を調べます。このため、病気が
進行して臓器の形に変化が出る前の段階で異常を発
見でき、早期治療につながる可能性があります。

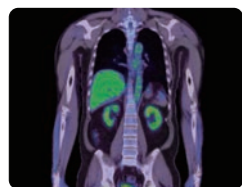
事業分野

放射性医薬品で 臓器の働き具合を可視化し、 病気の早期発見・治療につなげます

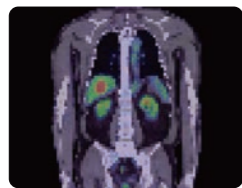
がんをはじめ脳卒中や認知症、心筋梗塞などを早期に見つけることができれば、治療に伴う患者さんの身体的・経済的負担を軽減できる可能性があります。私たちは、臓器の働きを画像化することのできる放射性医薬品の提供を通じ、病気の早期発見と最適な治療に貢献します。

1 診断分野 Diagnostic Field

PET検査画像



正常例



疾患例（肝転移）

疾患例では肝臓の位置に薬の集積（赤い箇所）が見られ、がんがあることがわかります。

国内の核医学の普及とともに 成長を続けるコア事業

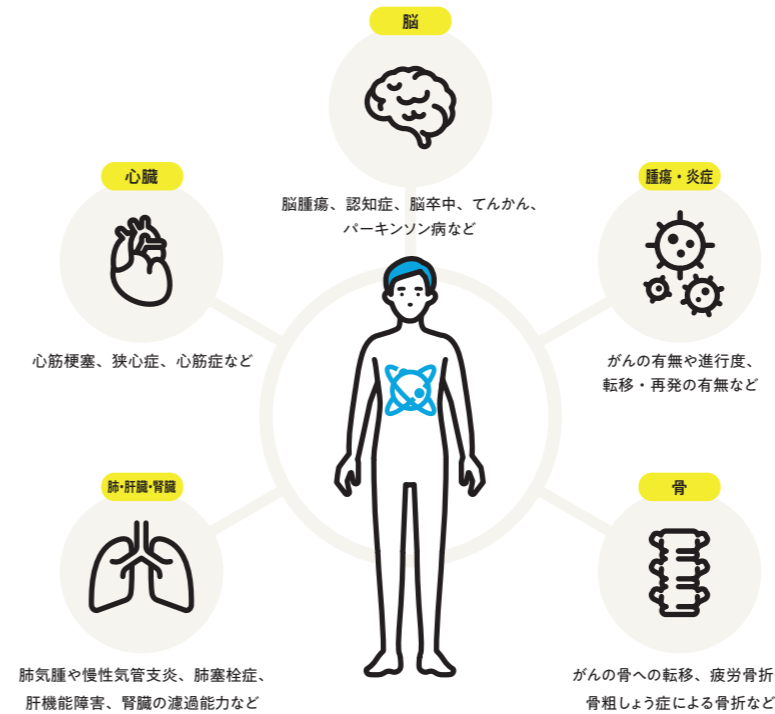
事業の柱である診断分野には、長年にわたり業界をリードし続けるSPECT診断薬と、日本で初めてデリバリーを実現したPET診断薬があります。臓器の形態の画像化から機能の可視化、がんの進行度の検査など、さまざまな目的に応じた幅広い製品をそろえています。



SPECT診断薬・PET診断薬

核医学とは

ごく微量のRIを含む医薬品や医療機器を使って病気の診断や治療を行う医学の専門分野。核医学検査では、RIで目印をつけた診断薬を注射などで投与した後、診断薬が目的の臓器に集まる様子を専用装置で撮影し、血流や代謝といった臓器の働きに異常がないかを調べます。臓器の形に変化が現れる前に病気を発見でき、身体への負担も少ない検査とされています。



**がん、脳血管疾患、心疾患などの
早期発見に貢献します**

核医学検査の流れ



1 薬剤を注射、薬剤が体内に行き届くまで待ちます。



2 カメラが体内の薬剤から出る放射線を測定します。

2 治療分野 Therapeutic Field

放射線に関連する治療技術を 日本でも可能に

RIをカートリッジに封じ込めた小線源を、体内に留置して前立腺がんを治療する放射線治療用密封小線源や、放射線関連の災害対策として、体内に取り込まれた放射性セシウムや超ウラン元素を除去するための体内汚染除去剤を供給しています。



放射線治療用密封小線源



体内汚染除去剤

研究

業界リーダーとして 核医学の可能性を拓き、発展させる

生体内で起きている分子レベルでの変化や反応を画像化（分子イメージング）できる放射性医薬品の特性を生かし、可視化によってこれまで困難だったタイプのがんの診断を可能にしたり、認知症の原因と疑われる物質を描出することで病態解明を助けるなど、新たな分野での利用法を開拓しています。次の目標は、核医学をさらに発展させた「セラノスティクス（治療と診断の融合）」の実現です。



Research

事業体制

研究開発 から
生産、供給、普及まで
一気通貫で 対応します

基準を満たした製造設備で 品質確保に取り組む

短時間で効力が半減する放射性医薬品は、在庫を持つことができません。全国13か所に拠点を設けるとともに、人為的ミスを防止する手順や、製造の基準を満たす設備と品質管理体制を整え、品質が確保された製品を毎日、効率よく製造できるよう努めています。また、製品の信頼性の根拠として重要なデータインテグリティの確保・強化にも努めています。

生産



Production

Supply



信頼できるサプライチェーン体制で 安定供給を確保する

原料の調達においては、労働環境・人権や自然環境にも配慮したCSR調達を推進するとともに、安定的な原料確保のために、サプライヤーや国際輸送ルートの開拓に注力しています。放射性医薬品は短時間で効力が失われるため、国内運輸会社と連携した独自の輸送体制を確立し、正確で速やかな輸送の実現に取り組んでいます。

供給

目的を共有するパートナーとして 医療従事者を支える

私たちが目指すのは、核医学の普及によりさまざまな医療現場で活用いただくことで、地域医療の充実と患者さんのQOL（生活の質）の向上を図り、健やかな社会創りに貢献することです。その実現に向けて、医薬情報担当者をはじめ私たちは、医療従事者の皆さんにとって目的を共有する頼れるパートナーでありたいと願っており、核医学分野はもちろん、医学全般における最新の学術情報を提供できるよう、情報収集と自己研鑽に常に励んでいます。

営業

Sales



パーパス経営の推進で 社会的価値を持続的に提供します

私たちは「核医学で、健やかな社会を創る」ことを社会に存在する意義と捉え、日々変化する医療ニーズに応えつつ、社会とともに成長するためのさまざまな取り組みを進めています。



Activity 1

医療の発展に向けた 取り組み

学会と協力し核医学の普及に努めるとともに、新たな診断薬の開発や個別化医療の実現など核医学の発展拡大に取り組んでいます。また、医薬品の研究開発の効率化に貢献すべく、核医学検査による分子イメージング技術を活用し、新薬の開発候補の選定や治験薬の治療効果判定に有用なデータを製薬企業に提供しています。



Activity 2

安定供給のための 取り組み

製薬企業の最も重要な社会的責任は安定供給の確保です。私たちは、半減期（放射線を出す能力が半分に減るまでの時間）が約2時間と短いPET診断薬をはじめ、さまざまな目的に応じた幅広い製品を全国の医療機関に毎日お届けしています。年間を通じ悪天候や交通途絶など不測の事態においても、製品を必要とされている患者さんのために供給責任を果たせるよう努めています。



Activity 3

働きやすい環境づくりの 取り組み

従業員が喜びとやりがいを持てる職場環境づくりを目標に、各種制度の導入や施策の充実とともに、従業員との意見交換の場を定期的に設け、相互理解と信頼関係醸成に努めています。障がい者や高齢者の雇用機会創出、外国籍社員の採用なども推進。従業員の健康管理、疾病予防、メンタルヘルスの向上にも取り組み、2020年以降毎年「健康経営優良法人」の認定を受けています。



Activity 4

地域社会に貢献するための 取り組み

地域社会の一員として、地域に貢献するさまざまな活動も行っています。放射性物質に関する特殊災害発生時の連携を想定した地域の消防本部との協力体制構築をはじめ、台風や豪雨などの大規模自然災害に対する義援金の寄付や、患者さんとそのご家族に心の癒しと感動をお届けする活動への支援も行っています。

SDGsへの取り組み

国連加盟国が2030年までの達成を目指す「SDGs（持続可能な開発目標）」。17の目標のうち、以下の4項目に重点的に取り組んでいます。

